

第3回常総環境センターふれあいデー

「もったいない市」も
同時開催！

●問合先

常総環境センター

ふれあいデー実行委員会

TEL 48・2314

FAX 46・0195

ごみ処理を学び、見学しながら楽しめるイベント「常総環境センターふれあいデー」を開催します。平成24年8月に新しく稼動した常総環境センターをぜひ見に来てください。

▼開催日時

平成25年2月24日(日)

午前10時～午後3時

※雨天決行

▼会場

常総環境センターなど

◎イベント参加者・ボランティア募集

会場で行う各種イベント

の参加者と当日の運営にご協力いただく市民のボランティア

ティアを同時に募集します。参加費は無料ですので、ふるってご応募ください。

▽内容

・物品販売（フリーマーケット含む）の出店者

・よさこいソーラン出演者

・ボランティアスタッフ

▽応募方法

参加申込書に記入し、常

総環境センターへ直接、

またはFAXで12月25日

（火）までに申し込む

※申込書は常総広域ホー

ムページ (<http://www.youso-koiki.or.jp/>) ま

たは常総環境センター、

市役所生活環境課で取得

全国大会 出場者紹介

茨城県ローズ杯 高校生英語 ディベート大会

ベストディベーター



よしかわじん
吉川仁さん
(並木中等教育学校5)

国際交流員

ヨークさんの
MORIYA滞在記



本物のクリスマス

去年、私は日本で2回目のクリスマスを経験しました。私にとってクリスマスシーズンは一年で一番好きな時期ですが、本当は少しがっかりしていました。

もちろん日本ではキリスト教徒が少なく、クリスマスが伝統的に伝わってきただけで、お祭りではないと分かっていました。お店（特に東京の）や道路のクリスマス飾りを見かけて、あちらこちらからクリスマスツリーの歌が聞こえたら、ドイツと同じような感じがしていました。ドイツよりきれいだと思います。でも、きれいな飾りと裏腹にやはり実質があまりないのと分かって、がっかりしました。確かに、ドイツでもクリスマス飾りを商品の販売促進目的で使っていま

す。しかし、ドイツでは日本とは違い、目的は浅くても、伝統的な飾りを使用します。伝統的とは、クリスマス飾りと歌だけではなく、幼いころからの温かい思い出が詰まった自分の心の中のような感じです。

ところで、他国でクリスマスはどのように祝われているかを調べてみると、ひとつも「本物のクリスマス」といえるものがないと初めて知りました。ドイツ国内でさえ、バイエルン州の子どものクリスマス習慣は私の知る習慣とは異なる点が多いのです。ドイツの隣国でもクリスマス祝いのやり方やシーズンの長さが異なります。その上、クリスマスがキリスト教によってもたらされているといった考えもあるのですから、キリスト教徒でもない私が日本のクリスマスについて文句を言えたものではありません。

つまり、クリスマスはそれぞれの人によって、異なるお祭りなのです。欧米諸国の多くは、日本のお正月のように家族・親友と過ごすお祝いの日で、「愛情の

祭り」ともいいます。日本でもカップルがクリスマスにデートする様子を見れば、「愛情の祭り」と言えるかもしれませんね。

ただ、やはり日本のクリスマスは商業的な面が大きいですね。日本にはクリスマスケーキがありますが、欧米ではイギリスとカナダを除いてそのような習慣がありません。イギリス・カナダのケーキも日本のような豪華なものではありません。実は日本のクリスマスケーキも舌をべろつと出した女の子で有名なケーキ業界の企業から1922年に誕生したものみたいです（笑）。ちなみに、ドイツだったら2〜3千円のケーキなんて高すぎて、誰も買わないでしょうね。

今年も日本で3回目のクリスマスを経験しますが、もうがっかりしません。その地域ごとに独自のクリスマス習慣があると分かりましたから。私は自分の心のクリスマスを感じながら、日本のクリスマスを楽しみたいと思います。